

## 明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査

以下の質問について、就職している方はご記入又は適当と思われる項目を○で囲んでください。その他の方はⅡ. 2をご回答ください。

### I. 基礎項目 現在の就業状況についてお伺いいたします。

1. 所在地 : 都・道・府・県 (事業所等の所在地)
2. 従業員数 : 約 人 (企業の場合は全体の人数)
3. 資本金 : 万円 (企業の方のみお答えください)
4. 業種 : 1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. その他 ( )

### Ⅱ. 調査項目

1. 現在の企業(団体等)に、卒業後最初に就職した。 はい・いいえ

「はい」と回答された方 :

- (1) この企業を選んだきっかけは何ですか。

大学掲示板・大学幹旋・大学企業セミナー等・教員推薦・アルバイト・一般募集広告・その他  
( )

- (2) この企業は大学での教養教育が活かしていますか。 はい・いいえ

- (3) この企業は大学での専門教育が活かしていますか。 はい・いいえ

「いいえ」と回答された方 :

- (1) 現在の企業は何度目の就職になりますか。 2度目・3度目以上

- (2) 最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

2018年 2019年 2020年 2021年 ( 月)

2. 明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みが必要と思われるものを○で囲んでください。(複数回答可)

- (1) 専門領域の知識 : 大学での学修成果の向上が必要。

- (2) 日本語コミュニケーション・スキル

- (3) 外国語コミュニケーション・スキル

- (4) 数量的スキル : 自然や社会的事象を論理的に分析理解する。

- (5) 情報リテラシー : 多様な情報を適正に判断し効果的に活用する。

- (6) 論理的思考力 : 情報や知識を複眼的、論理的に分析する。

- (7) 問題解決力 : 問題を発見し確実に解決できる。

- (8) 自己管理能力 : 自らを律して行動できる。

- (9) チームワーク、リーダーシップ

- (10) 倫理観 : 自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。

- (11) その他 ( )

ありがとうございました。

## ■卒業生アンケート傾向分析【2019～2021年度】

### 目的

卒業生にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：卒業生全員（卒業後3年に至る方。留学生を除く。）

調査方法：調査対象者に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2021年度	2020年度	2019年度
発送数 a	584	723	639
住所不明 b	65	111	58
回収数 c	29	46	33
回収率 $c/(a-b)$	5.6%	7.5%	5.7%

### 結果の概要

- ・回答者の多くは東京都又は千葉県企業に就業しており、業種は多岐に渡る。
- ・2021年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が減少した。
- ・2021年度は転職経験者のうち3割が2回以上の転職を経験している。
- ・離職のタイミングは入社初年度が多く、年々早期離職の傾向にある。
- ・転職未経験者の多くが、就職情報サイト等外部の媒体を活用して求人情報を収集している。その一方で、大学からの斡旋により就職先を選択した卒業生も一定数おり、3年以上継続して就業している。
- ・転職未経験者の半数以上が大学で学んだ専門教育及び教養教育が就職後に活かされていると感じている。
- ・「自己管理能力」を身につけることが、就業力を向上させると考える卒業生が多い。
- ・就業力を向上させる取組みとして、「情報リテラシー」との回答が年々増加している。

### 分析・対策等

- ・早期離職防止のため、在学中に内定企業とのミスマッチの予防や就業に対するモチベーション維持等を目的とした個別面談等の施策が必要である。
- ・大学からの斡旋により就職先を選択した卒業生が一定数いることから、求人開拓や企業セミナー等のイベントを開催し、企業とのパイプ作りを強化する必要がある。
- ・就業先での情報リテラシーの必要性が高まっていることから、学修の基礎Ⅲをはじめとした教育の強化が必要である。

### 詳細

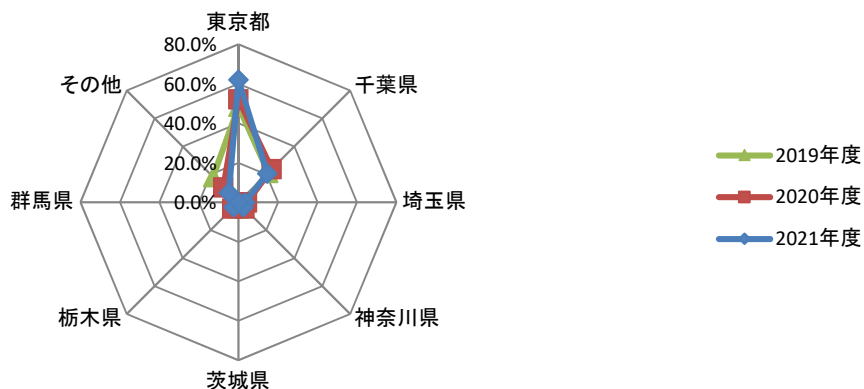
※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

## 1 就業状況

### (1) 事業所等の所在地

2021年度は、過年度と同様に回答者の多くが本学所在地（浦安キャンパス）に近い東京都又は千葉県で就業中である。（図1-1）

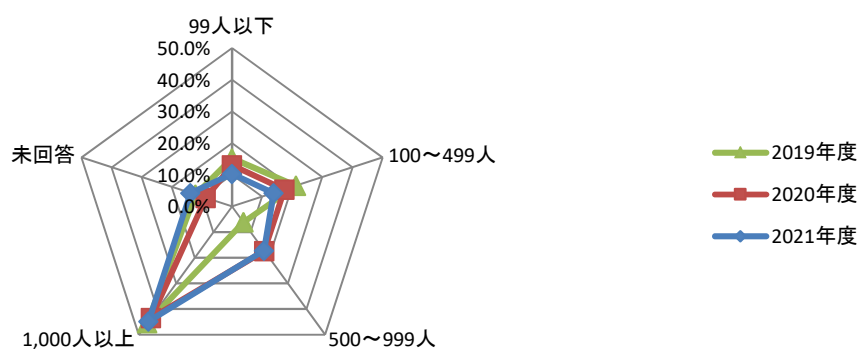
図1-1 事業所等の所在地



### (2) 従業員数

2021年度は、過年度と同様に「1,000人以上」の企業で就業している回答者が最も多かった。（図1-2）

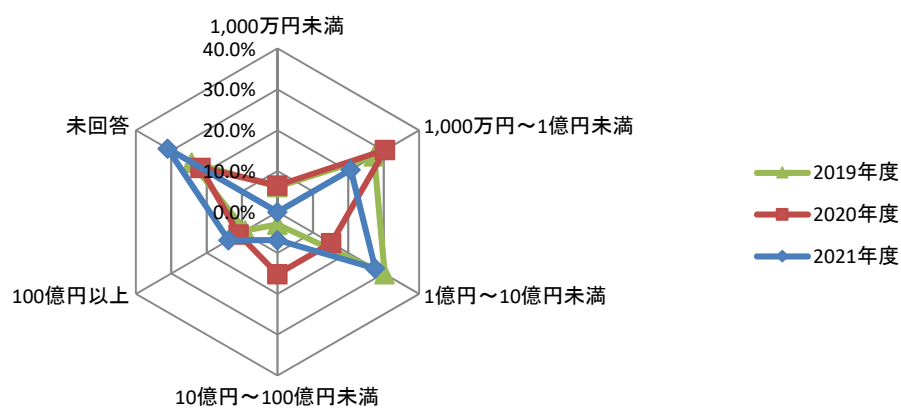
図1-2 従業員数



### (3) 資本金

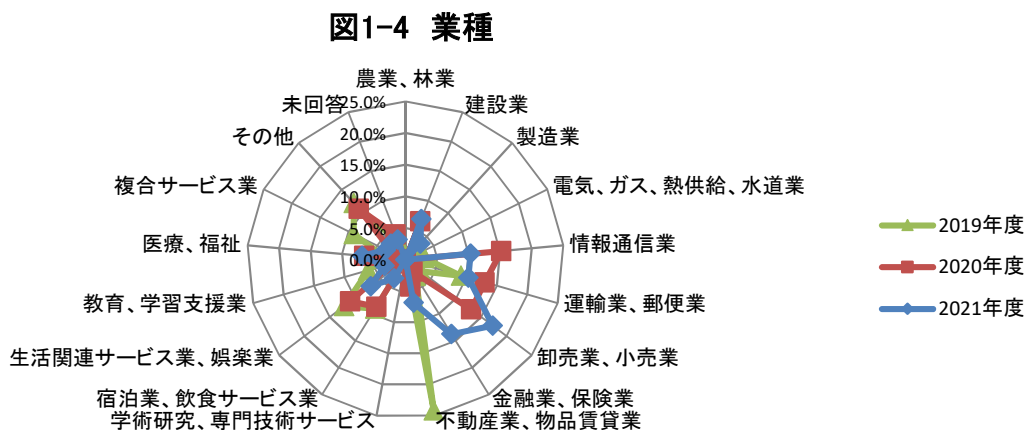
2021年度は「1億円以上～10億円未満」及び「100億円以上」の割合が増え、過年度よりも1億円以上の資本金規模が大きい企業で就業している割合が増えた。（図1-3）

図1-3 資本金



(4) 業種

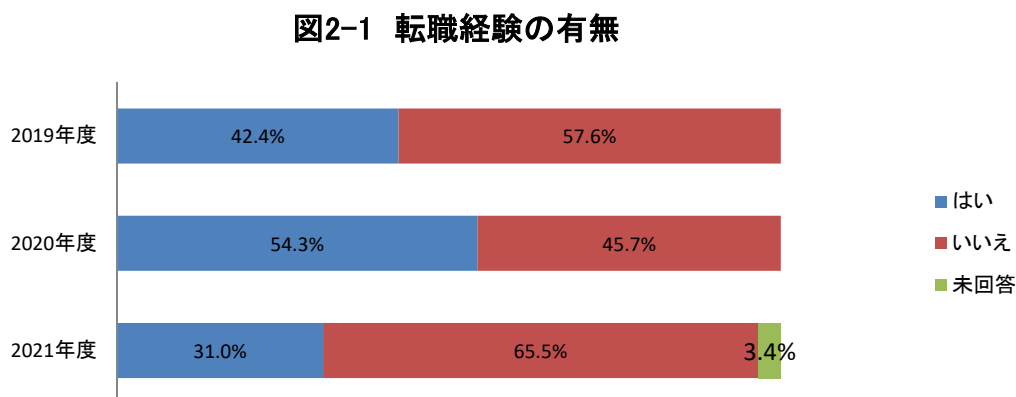
過年度と同様に、様々な業種に就業しているが、2021年度は「卸売業、小売業」に従事する卒業生が最も多かった。(図1-4)



2 転職経験

(1) 転職経験の有無

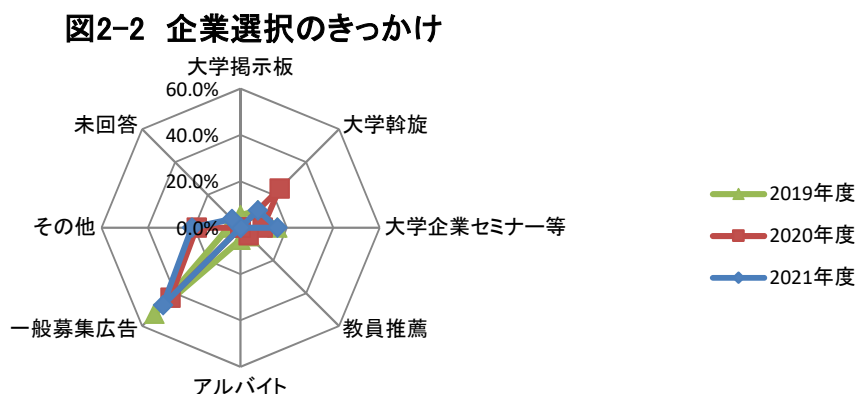
2021年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が減少した。(図2-1)



(2) 転職経験「なし」回答者への設問

ア 現在の就職先を選んだきっかけ

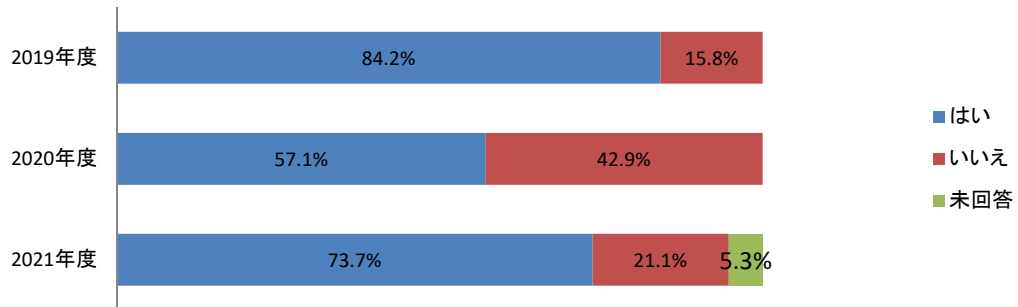
2021年度は、過年度と同様に就職情報サイト等外部の媒体を活用して就職先を選択した回答者が最も多かった。また、大学からの斡旋で就職先を選択した回答者は例年一定数存在し、3か年で平均3割を超えている。(図2-2)



イ 大学で学んだ教養教育の活用

2020年度は教養教育が活かしているとの回答が6割に満たなかったが、2021年度は7割以上に増加した。(図2-3)

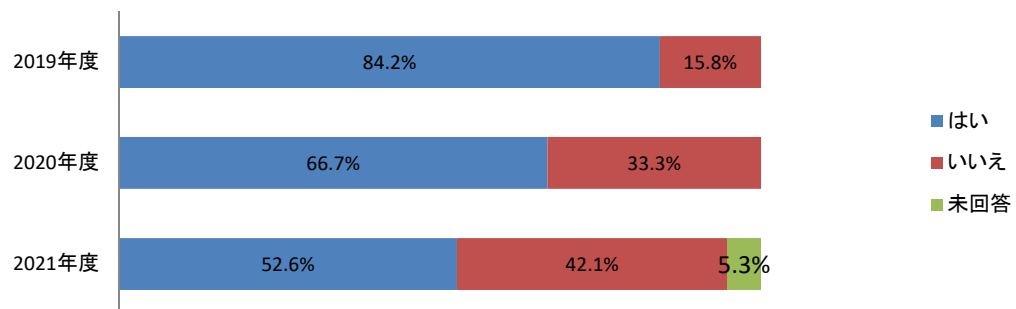
図2-3 教養教育の活用



ウ 大学で学んだ専門教育の活用

2021年度は約半数から専門教育が活かしているとの回答があったが、その割合は年々減少している。(図2-4)

図2-4 専門教育の活用

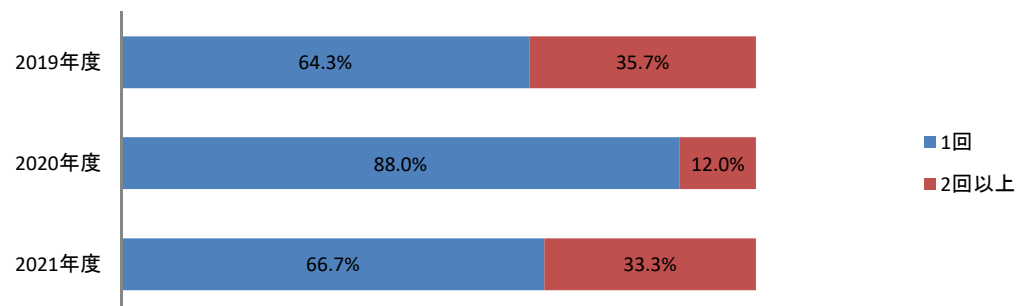


(3) 転職経験「あり」回答者への設問

ア 転職回数

2020年度は転職者のほとんどが1回だったが、2021年度は2019年度と同様に3割以上が2回以上の転職を経験している。(図2-5)

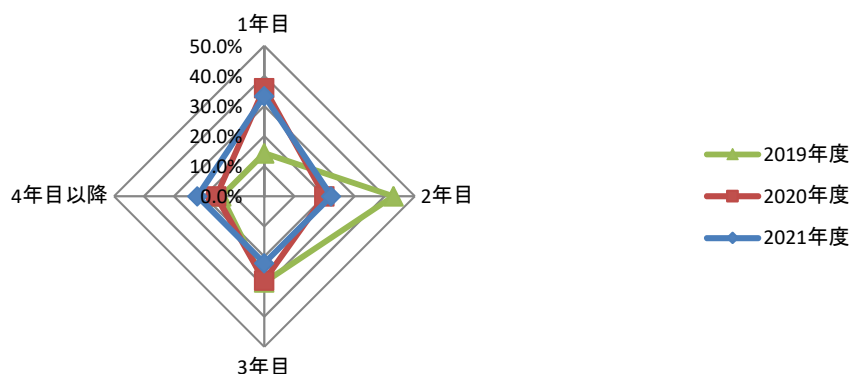
図2-5 転職回数



### イ 初めての就職先を離職した時期

2019年度は入社2年目の離職率が高かったが、2020年度及び2021年度は入社初年度の離職率が高く、年々早期離職の傾向がみられる。(図2-6)

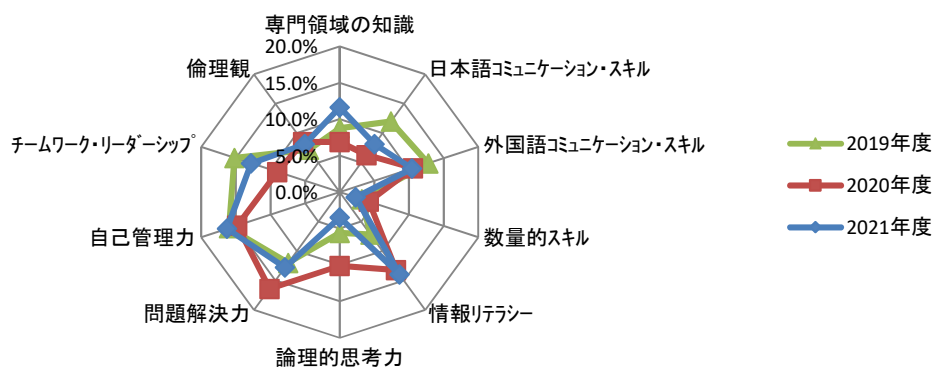
図2-6 離職の時期



### 3 就業力を向上させる取組み

2021年度に最も回答が多かったのは「自己管理能力」であった。一方で、「数量的スキル」は過年度と同様に最も回答が少なかった。また、「情報リテラシー」との回答は年々増加傾向にある。(図3)

図3 就業力を向上させる取組み



### 4 添付資料

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果 (2021年度)

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果（2021 年度）

1 発送対象等

2017 年度卒業生全員（卒業後 3 年に至る方。留学生を除く。）

対象者数：584 名

2 発送数・回収状況等

発送数 a	584
住所不明 b	65
回収数 c	29
回収率 $c/(a-b)$	5.6%

3 現在の就業状況

回答があった 29 名全員が就職している。

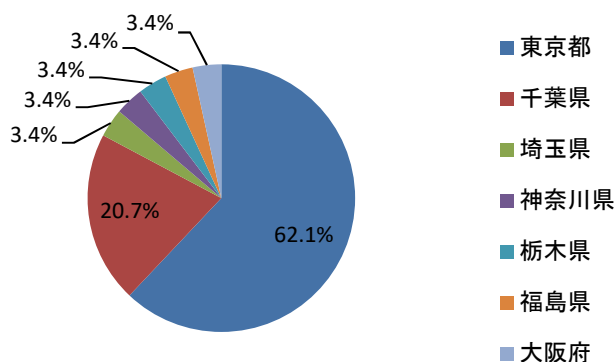
I 基礎項目 現在の就業状況

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1 事業所等の所在地

事業所等の所在地は、「東京都」が最も多く 18 件（62.1%）、次いで「千葉県」の 6 件（20.7%）となり、合わせると 8 割以上が本学所在地（浦安キャンパス）から近い東京都又は千葉県で就業している。

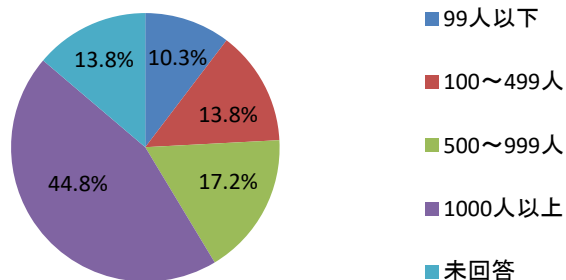
都道府県	回答数
東京都	18
千葉県	6
埼玉県	1
神奈川県	1
栃木県	1
福島県	1
大阪府	1
合計	29



2 従業員数

従業員規模別では、「1,000 人以上」が最も多く 13 件（44.8%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、15 人（東京都／生活関連サービス業、娯楽業）で、最も多かったのは、20,000 人（東京都／金融業、保険業）であった。

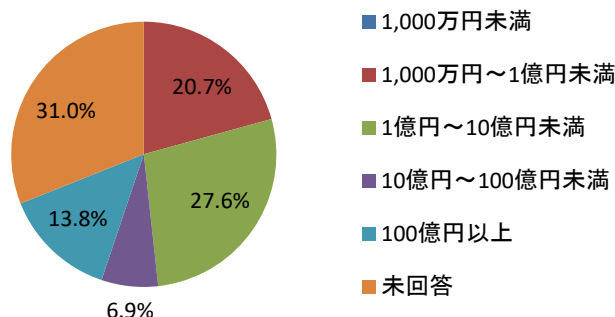
従業員数	回答数
99 人以下	3
100～499 人	4
500～999 人	5
1,000 人以上	13
未回答	4
合計	29



### 3 資本金

資本金規模別では、「1億円～10億円未満」が最も多く8件（27.6%）、次いで「1,000万円～1億円未満」の6件（20.7%）であった。回答のうち、資本金の最小額は1,000万円（東京都／情報通信業）で、最大額は1兆4,040億円（東京都／金融業、保険業）であった。

資本金	回答数
1,000万円未満	0
1,000万円～1億円未満	6
1億円～10億円未満	8
10億円～100億円未満	2
100億円以上	4
未回答	9
合計	29



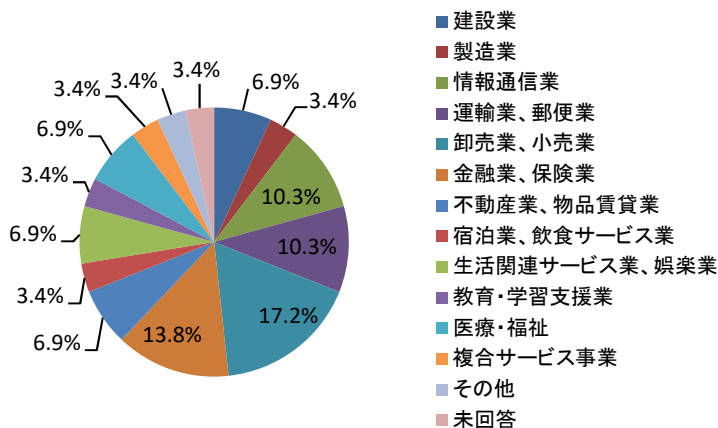
### 4 業種

現在就業している企業等の業種については、「その他」の回答を除き12業種に分布が見られた。

最も多かった業種は、「卸売業、小売業」の5件（17.2%）、次いで「金融業、保険業」の4件（13.8%）であった。なお、「その他」の業種として、公務員との回答があった。

一方、次の5業種「農業・林業」・「漁業」・「鉱業・採石業・砂利採取業」・「電気、ガス、熱供給、水道業」・「学術研究、専門・技術サービス業」については、該当がなかった。

業種	回答数
建設業	2
製造業	1
情報通信業	3
運輸業、郵便業	3
卸売業、小売業	5
金融業、保険業	4
不動産業、物品賃貸業	2
宿泊業、飲食サービス業	1
生活関連サービス業、娯楽業	2
教育・学習支援業	1
医療・福祉	2
複合サービス事業	1
その他	1
未回答	1
合計	29

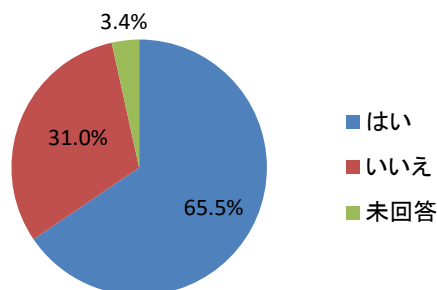


## II 調査項目

### 1 現在の企業（団体等）に、卒業後最初に就職した。

卒業後最初に就職した企業（団体等）に継続して勤務している者は19件（65.5%）であった。一方、転職を経験している者は9件（31.0%）となり、回答者の3割以上が転職経験者であることがわかった。

回答	回答数
はい	19
いいえ	9
未回答	1
合計	29



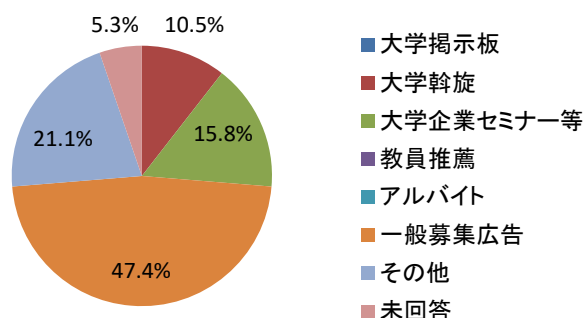


II-1で「はい」と回答された方（算出母数 19）：

(1) この企業を選んだきっかけは何ですか。

最も多かったのは、「一般募集広告」の 9 件（47.4%）であり、学生が企業情報の主な情報源として就職情報サイト等外部の媒体を活用していることがわかる。一方、「大学幹旋」「大学企業セミナー等」の合計が 5 件（26.3%）あり、学内における企業と学生とのマッチングの効果が出ていることがわかる。

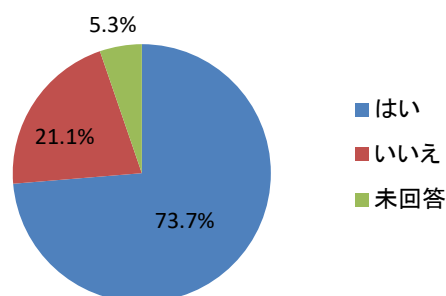
企業を選んだきっかけ	回答数
大学掲示板	0
大学幹旋	2
大学企業セミナー等	3
教員推薦	0
アルバイト	0
一般募集広告	9
その他	4
未回答	1
合計	19



(2) この企業は大学での教養教育が活かしていますか。

大学での教養教育が活かしていると回答した者が 14 件（73.7%）と、活かしていないと回答する者 4 件（21.1%）を上回った。

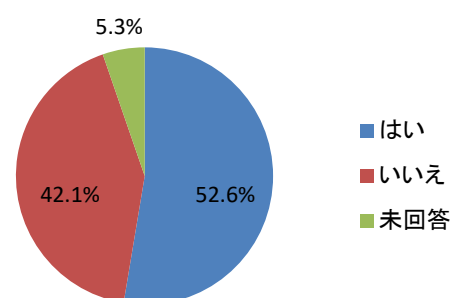
回答	回答数
はい	14
いいえ	4
未回答	1
合計	19



(3) この企業は大学での専門教育が活かしていますか。

大学での専門教育が活かしていると回答した者が 10 件（52.6%）と、活かしていないと回答する者 8 件（42.1%）を上回った。

回答	回答数
はい	10
いいえ	8
未回答	1
合計	19

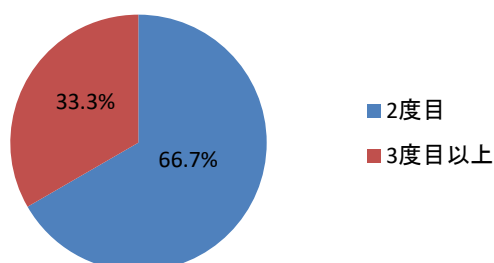


II-1で「いいえ」と回答された方（算出母数 9）：

(1) 現在の企業は何度目の就職になりますか。

回答者のうち「2度目」の就職と回答した者が 6 件（66.7%）と、「3度目以上」と回答する者 3 件（33.3%）を上回った。

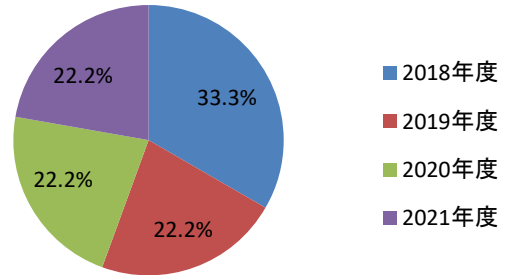
回答	回答数
2度目	6
3度目以上	3
合計	9



(2) 最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

回答者のうち、「2018年度（入社初年度）」に退職した者が3件（33.3%）と最も多かった。就業者（母数29）に占める3年以内の転職者（母数7）の割合は24.1%であった。今回の調査では厚生労働省が発表した平成30年3月新規大卒就職者の就職後3年以内離職率の31.2%を下回ってはいるが、入社初年度に退職した者が多いことから、在学中にいかに内定企業とのミスマッチを防ぐかが鍵となりそうである。

退職年度	回答数	備考（退職月内訳）
2018年度（初年度）	3	2018年 7月 1名 2018年 12月 1名 他、2018年退職月不明 1名
2019年度（2年目）	2	2019年 4月 1名 2019年 12月 1名
2020年度（3年目）	2	2021年 1月 1名 2021年 3月 1名
2021年度（4年目）	2	2021年 7月 1名 2022年 3月 1名
合計	9	

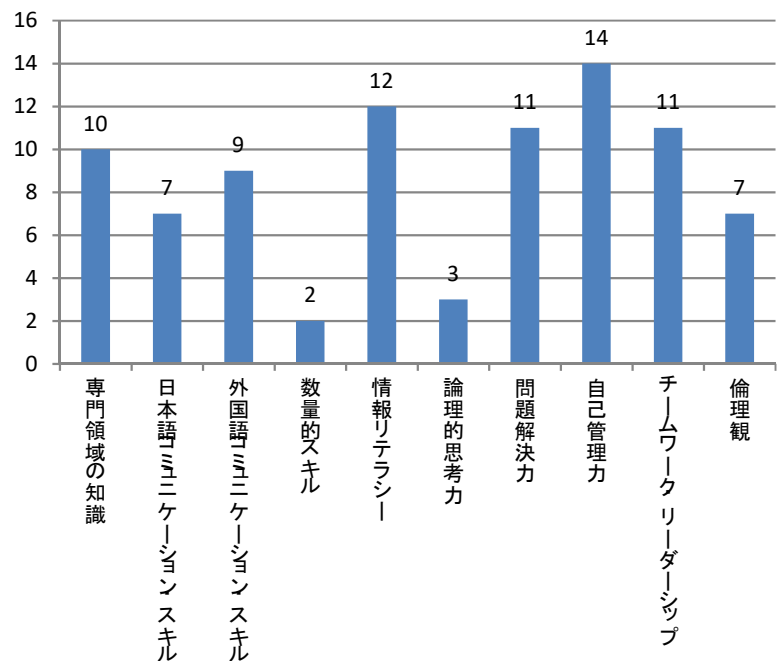


2 明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みとして必要と思われるものを選んでください。（複数回答可）

就業力向上のための取り組みとして必要なものに「自己管理能力」を挙げた者が14件（回答者の48.3%）と最も多く、次いで「情報リテラシー」の12件（回答者の41.4%）であった。一方で最も少なかったのは「数量的スキル」の2件（回答者の6.9%）であった。

なお、その他の回答として「基礎学力、教養」・「Excel などパソコンの授業の本格化」・「キャリアサポートセンターの充実」などがあつた。

回答	回答数
専門領域の知識	10
日本語コミュニケーション・スキル	7
外国語コミュニケーション・スキル	9
数量的スキル	2
情報リテラシー	12
論理的思考力	3
問題解決力	11
自己管理能力	14
チームワーク・リーダーシップ	11
倫理観	7



## 明海大学卒業生に関するアンケート調査

以下の質問について、ご記入又は適当と思われる項目の番号を○で囲んでください。

### I. 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

1. 所在地： 都道府県（ご回答いただく貴社の所在地）

2. 従業員数： 約 人（貴社全体の人数）

3. 資本金： 万円

4. 業種： 1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. その他（ ）

5. 現在の明海大学卒業生の在職者数（大学院修了生を含む）： 人

### II. 調査項目 明海大学卒業生の印象などをお伺いいたします。

1. 採用に当たってどのような点を重視しますか。

（次の3項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5非常に重視、4やや重視、3普通、2余り重視しない、1重視しない）

1) 学力（専門・基礎） 5・4・3・2・1

2) 職務能力の適性 5・4・3・2・1

3) 人間性（積極性・協調性など） 5・4・3・2・1

4) その他（自由記入） \_\_\_\_\_

2. 明海大学卒業生の印象について、どのように評価されていますか。

（次の8項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5優れる、4やや優れる、3普通、2やや劣る、1劣る）

1) 仕事に対する知識・基礎学力 5・4・3・2・1

2) 仕事に対する理解・判断力 5・4・3・2・1

3) 仕事に対する職務遂行能力 5・4・3・2・1

4) 対人関係、仕事の協調性 5・4・3・2・1

5) コミュニケーション能力 5・4・3・2・1

6) 責任感・粘り強さ・誠実性 5・4・3・2・1

7) 外国語（英語など）の能力 5・4・3・2・1

8) パソコン操作等の能力 5・4・3・2・1

9) その他（自由記入） \_\_\_\_\_

貴社名 \_\_\_\_\_

回答者の部署・役職 \_\_\_\_\_

## ■企業アンケート傾向分析【2019～2021 年度】

### 目的

卒業生を雇用いただいている企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：調査実施年度の前年度、前々年度に採用実績がある企業

調査方法：調査対象企業に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2021 年度	2020 年度	2019 年度
発送数 a	535	566	703
住所不明 b	17	11	13
回収数 c	79	94	167
回収率 c/(a-b)	15.3%	16.9%	24.2%

### 結果の概要

- ・回答企業の多くは東京都・千葉県に所在する中小企業で、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に「人間性」、「職務能力の適性」を非常に重視する企業が多いが、一方で回答企業の2割は「学力」を重視している。
- ・卒業生の評価では、8領域のうち「理解・判断力」、「職務遂行能力」、「対人関係・協調性」、「コミュニケーション能力」、「責任感・粘り強さ・誠実性」の6領域で過年度よりも評価が高まった。
- ・2021 年度は、過年度と同様に「外国語運用能力」、「パソコン操作能力」等職務上で必要となる技術面は人間性と比べあまり評価されていない傾向にある。

### 分析・対策等

- ・採用に当たって学力を重視する企業もあり、採用選考時に SPI 等筆記試験を課す企業も多いことから、低学年からの基礎学力の強化が必要である。
- ・卒業生の評価では、人間性と比べ職務上で必要となる技術面での評価が低いことから、実践に即した語学力やパソコン操作能力の強化が必要である。

### 詳細

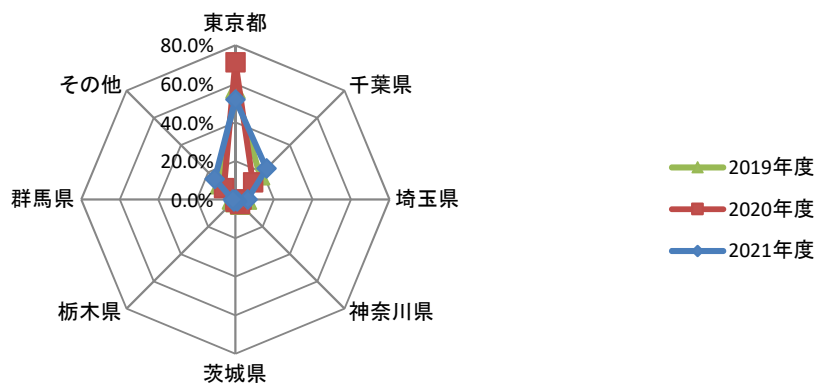
※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

## 1 企業情報

### (1) 事業所等の所在地

2021年度は、過年度と同様に回答企業の多くが「東京都」又は「千葉県」に所在する企業である。(図1-1)

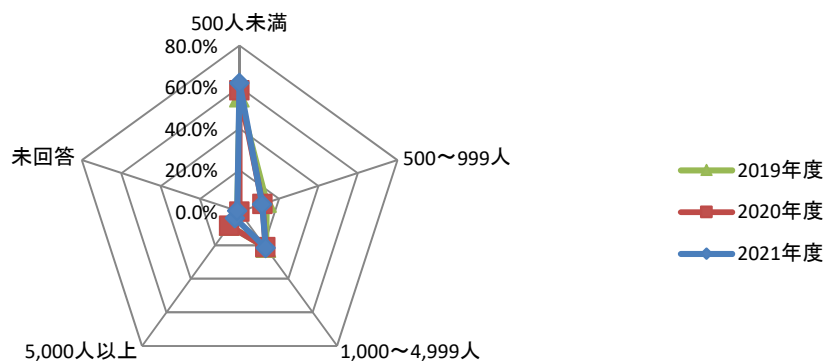
図1-1 事業所等の所在地



### (2) 従業員数

2021年度は、過年度と同様に回答企業の多くが従業員数「500人未満」の中小企業である。(図1-2)

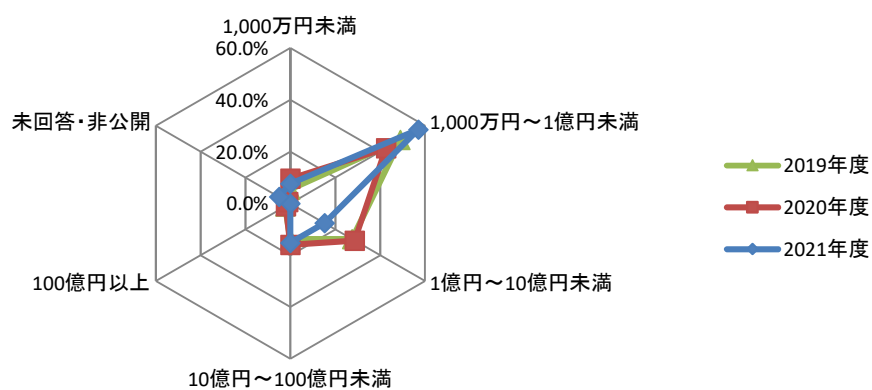
図1-2 従業員数



### (3) 資本金

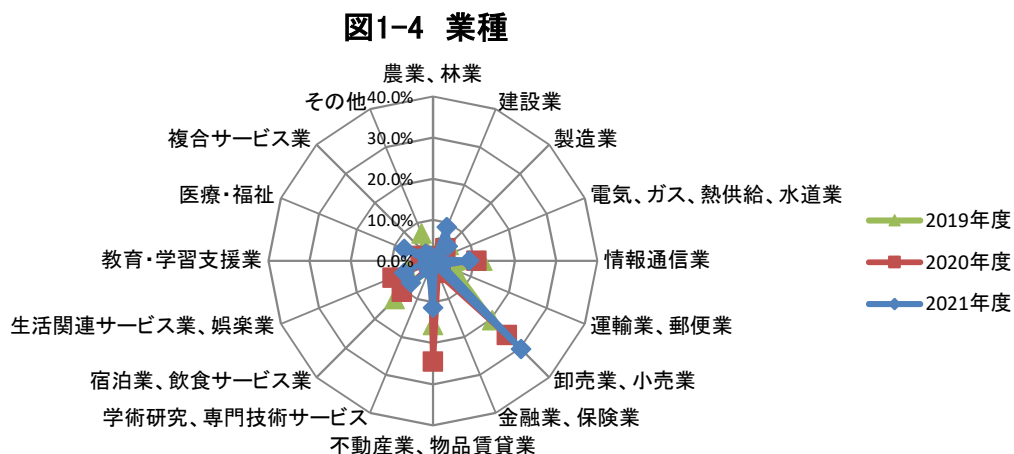
2021年度は、過年度と同様に資本金「1,000万円~1億円未満」の企業が最も多く、その割合が増えた。(図1-3)

図1-3 資本金



(4) 業種

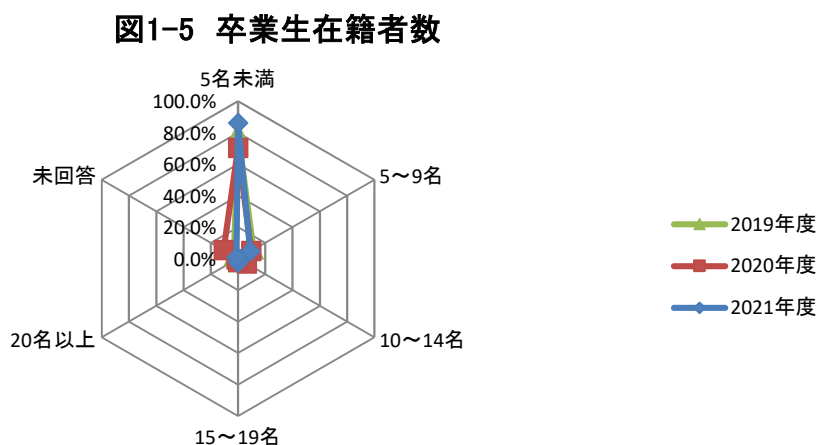
2021年度は、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。(図1-4)



(5) 卒業生在籍者数

2021年度は、過年度と同様に「5名未満」の企業が最も多く、8割以上を占めた。(図1-5)

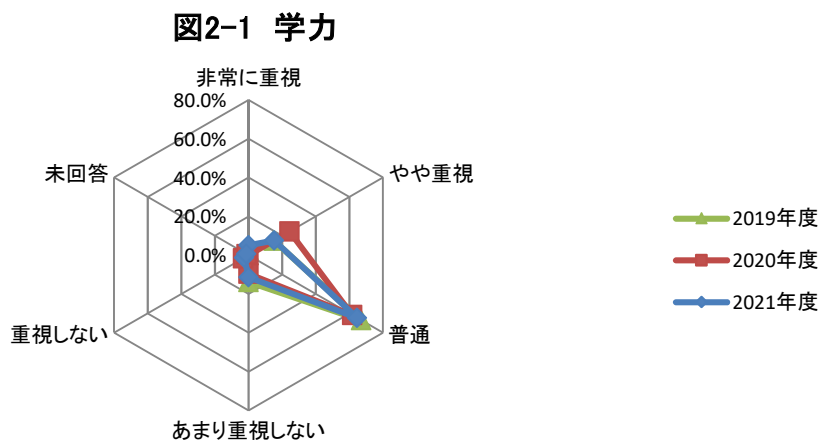
(図1-5)



2 採用に当たって重視する点

(1) 学力 (専門・基礎)

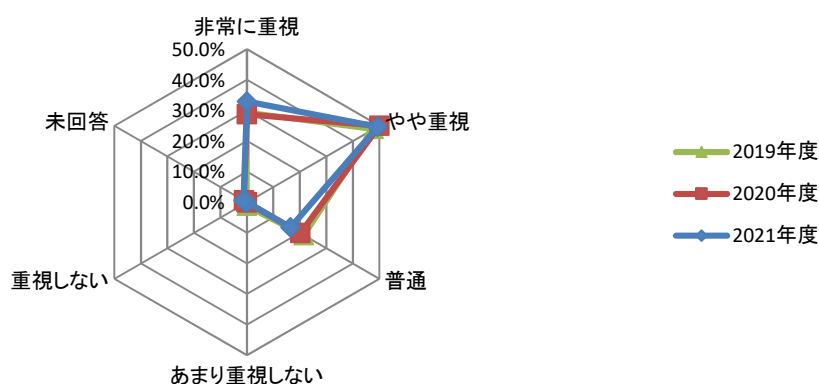
2021年度回答企業の7割以上が「普通・あまり重視しない・重視しない」傾向にあり、過年度と同様である。(図2-1)



(2) 職務能力の適性

2021年度回答企業の8割以上が「非常に重視・やや重視」する傾向にあり、過年度と同様である。(図2-2)

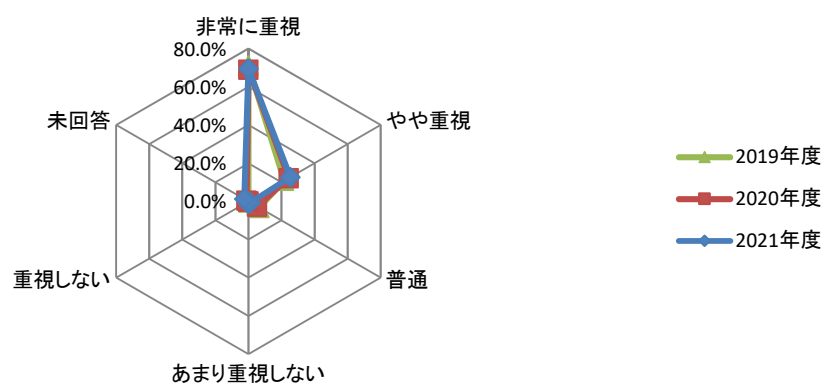
図2-2 職務能力の適性



(3) 人間性 (積極性・協調性など)

2021年度回答企業の9割以上が「非常に重視・やや重視」する傾向にあり、過年度と同様である。(図2-3)

図2-3 人間性



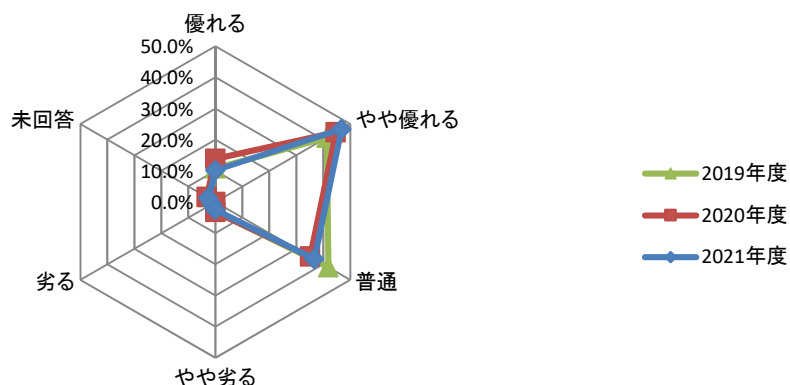
3 卒業生の評価

(1) 知識・基礎学力

2021年度は、「優れる・やや優れる」との評価が6割弱を占め、過年度と同様である。

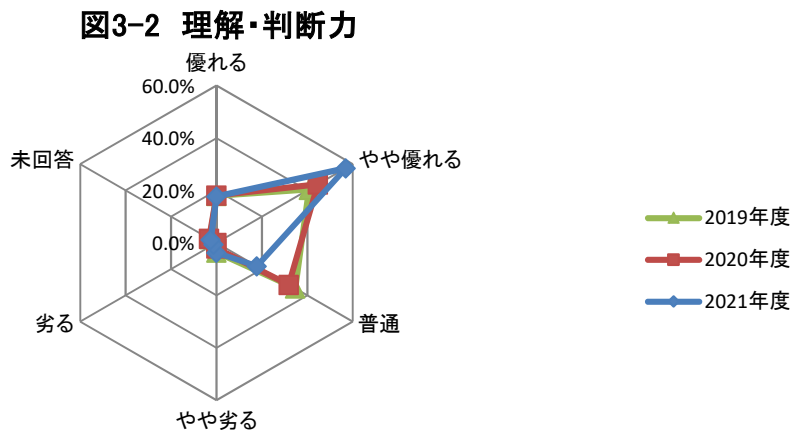
(図3-1)

図3-1 知識・基礎学力



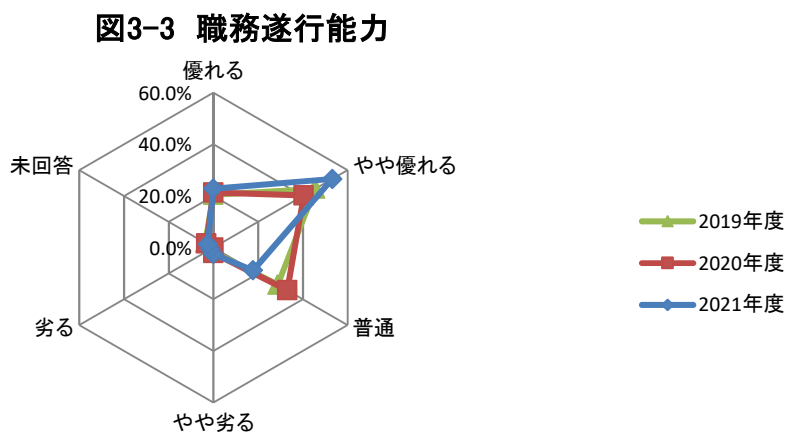
(2) 理解・判断力

2021年度は、7割以上の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と比べその割合が増えた。(図3-2)



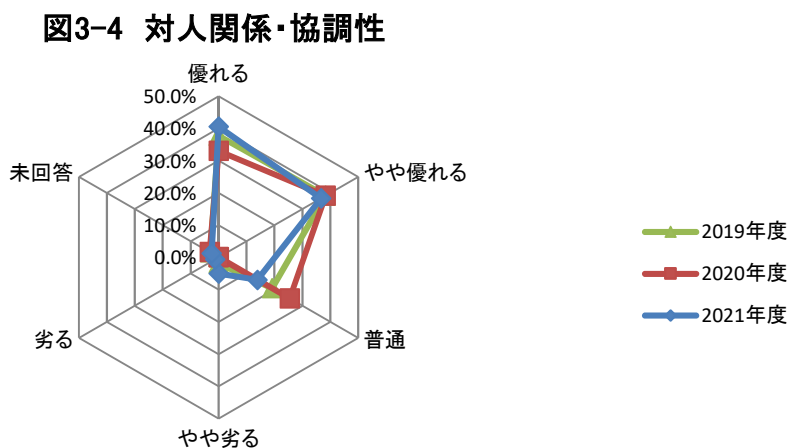
(3) 職務遂行能力

2021年度は、7割以上の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と比べその割合が増えた。(図3-3)



(4) 対人関係・協調性

2021年度は、8割弱の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と比べその割合が増えた。(図3-4)

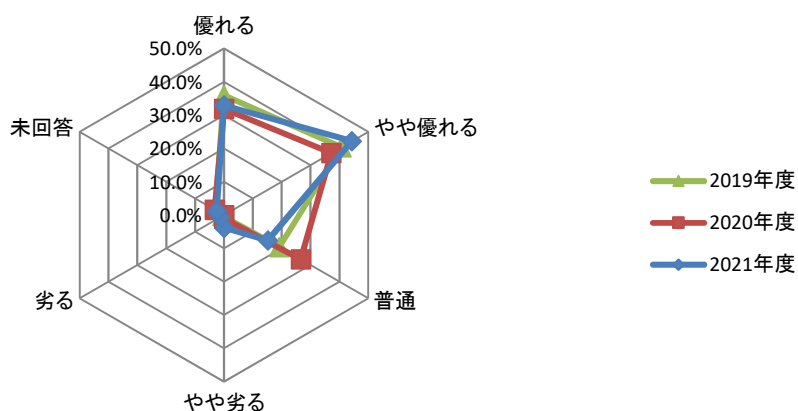




(5) コミュニケーション能力

2021年度は、8割弱の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と比べその割合が増えた。(図3-5)

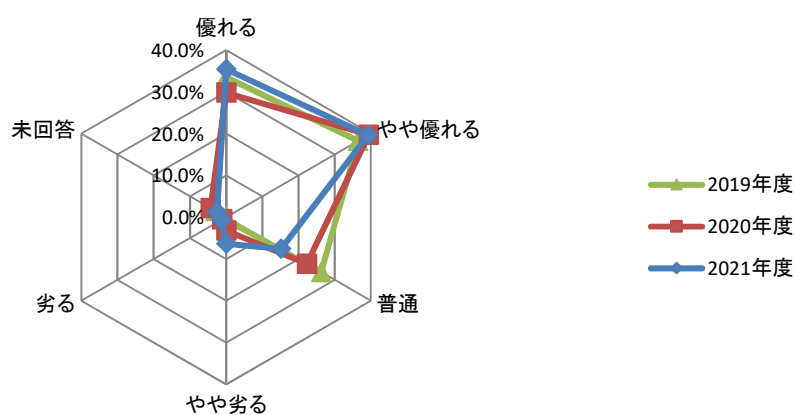
図3-5 コミュニケーション能力



(6) 責任感・粘り強さ・誠実性

2021年度は、7割以上の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と比べその割合が増えた。(図3-6)

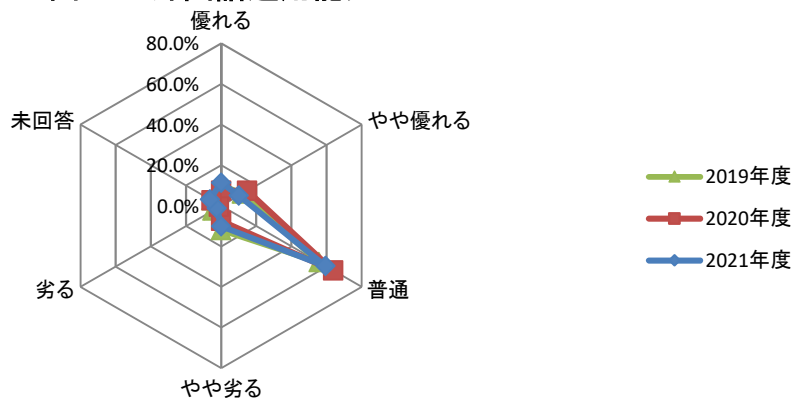
図3-6 責任感・粘り強さ・誠実性



(7) 外国語運用能力

2021年度は、「普通」との回答が6割弱と最も多く、過年度と評価に変化はなかった。(図3-7)

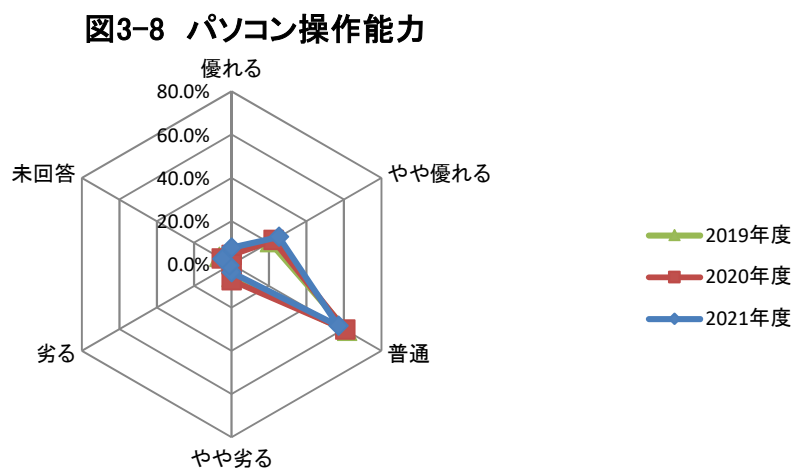
図3-7 外国語運用能力



(8) パソコン操作能力

2021年度は、「普通」との回答が6割弱と最も多く、過年度と評価に変化はなかった。

(図 3-8)



4 添付資料

明海大学卒業生に関するアンケート調査集計結果 (2021年度)

明海大学卒業生に関するアンケート調査集計結果（2021 年度）

1 発送対象等

2019 年度から 2020 年度までの採用実績がある企業 535 社

2 発送数・回収状況等

発送数 a	535
住所不明 b	17
回収数 c	79
回収率 c/(a-b)	15.3%

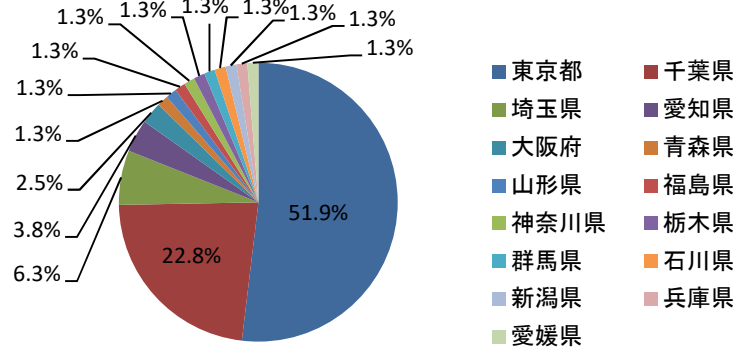
I 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1 所在地

企業の本社所在地は、「東京都」が最も多く 41 社（51.9%）であった。次いで、「千葉県」の 18 社（22.8%）であった。

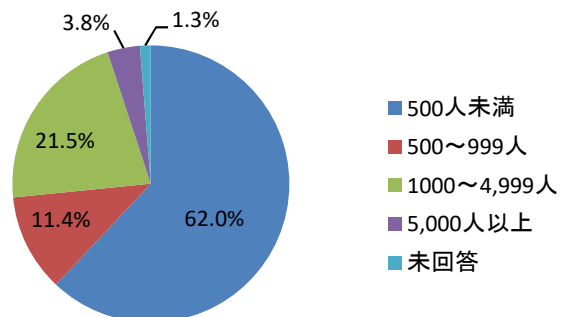
都道府県	回答数
東京都	41
千葉県	18
埼玉県	5
愛知県	3
大阪府	2
青森県、山形県、福島県、 神奈川県、栃木県、群馬県、 石川県、新潟県、兵庫県、愛媛県	各 1
合計	79



2 従業員数

従業員規模別では、「500 人未満」が最も多く 49 社（62.0%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、5 人（千葉県／卸売業、小売業）で、最も多かったのは 38,444 人（東京都／生活関連サービス業、娯楽業）であった。

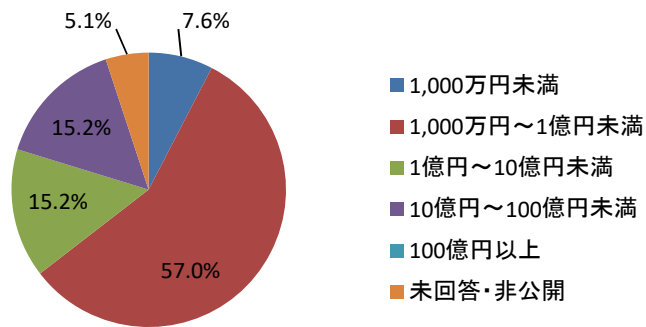
従業員数	回答数
500 人未満	49
500～999 人	9
1,000～4,999 人	17
5,000 人以上	3
未回答	1
合計	79



3 資本金

資本金規模別では、「1,000 万円～1 億円未満」が最も多く 45 社（57.0%）であった。回答のうち、資本金の最大額は 53 億 569 万円（神奈川県／卸売業、小売業）であった。

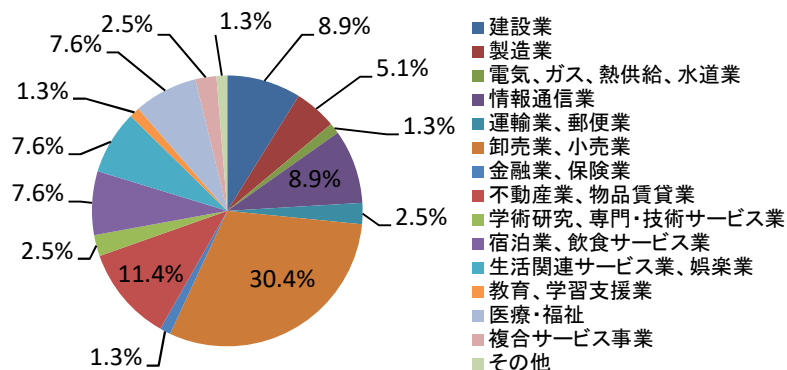
資本金	回答数
1,000万円未満	6
1,000万円～1億円未満	45
1億円～10億円未満	12
10億円～100億円未満	12
100億円以上	0
未回答・非公開	4
合計	79



#### 4 業種

最も多かった業種は、「卸売業、小売業」の24社（30.4%）、次いで「不動産業、物品賃貸業」の9社（11.4%）であった。

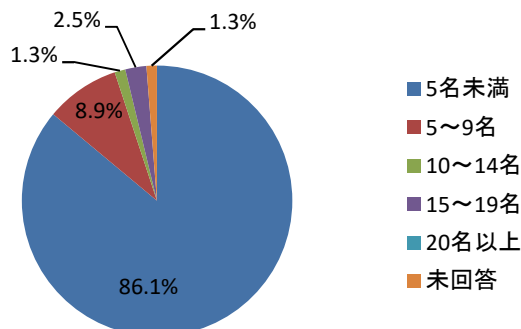
業種	回答数
建設業	7
製造業	4
電気、ガス、熱供給、水道業	1
情報通信業	7
運輸業、郵便業	2
卸売業、小売業	24
金融業、保険業	1
不動産業、物品賃貸業	9
学術研究、専門・技術サービス業	2
宿泊業、飲食サービス業	6
生活関連サービス業、娯楽業	6
教育、学習支援業	1
医療・福祉	6
複合サービス事業	2
その他	1
合計	79



#### 5 現在の明海大学卒業生の在籍者数

最も多かったのは「5名未満」の68社（86.1%）、次いで「5～9名」の7社（8.9%）であった。回答のうち、卒業生在籍者数が最も多かった企業は、16名（東京都／生活関連サービス業、娯楽業）であった。

卒業生在籍者数	回答数
5名未満	68
5～9名	7
10～14名	1
15～19名	2
20名以上	0
未回答	1
合計	79



## II 調査項目

### 1 採用に当たってどのような点を重視しますか。

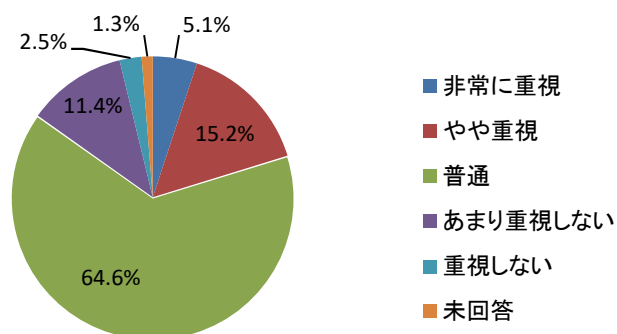
「学力（専門・基礎）」・「職務能力の適性」・「人間性（積極性・協調性など）」の3項目について、企業が最も重視しているのは、「人間性（積極性・協調性など）」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて75社（94.9%）が重視していることがわかった。次に挙げられたのは、「職務能力の適性」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて65社（82.3%）が重視していることがわかった。

一方で、「学力（専門・基礎）」については「普通」が最も多く、「あまり重視しない」・「重視しない」と合わせて62社（78.5%）であった。

「学力（専門・基礎）」はもちろんのこと、学生にいかにか「人間性（積極性・協調性など）」や「職務能力の適性」を身に付けさせるかが、就職に強い大学になるための鍵となりそうである。

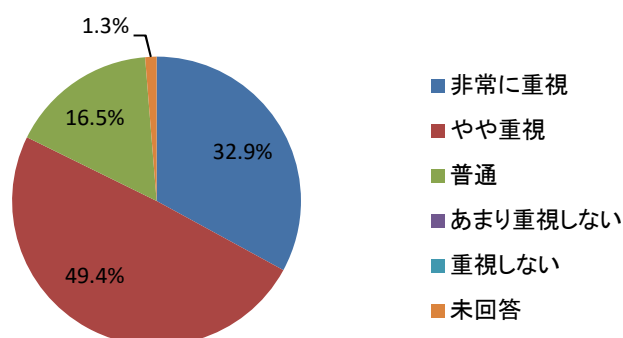
#### (1) 学力（専門・基礎）

学力	回答数
非常に重視	4
やや重視	12
普通	51
あまり重視しない	9
重視しない	2
未回答	1
合計	79



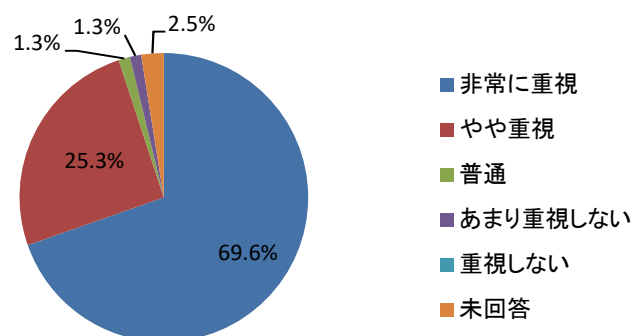
#### (2) 職務能力の適性

職務能力の適性	回答数
非常に重視	26
やや重視	39
普通	13
あまり重視しない	0
重視しない	0
未回答	1
合計	79



#### (3) 人間性（積極性・協調性など）

人間性	回答数
非常に重視	55
やや重視	20
普通	1
あまり重視しない	1
重視しない	0
未回答	2
合計	79



(4) その他（自由記入）

採用に当たって重視する点として、次の回答等があった。

コミュニケーション能力（2件）、志望度（2件）・他社との差別化ができていないか、素直さ（2件）、誠実さ（2件）、正直さ、その人の個性、当社の求める人物像、宅建士取得者（不動産業）、本気度、前向き、勉強好き、自己犠牲（人の為に、お客様の為にという価値観）

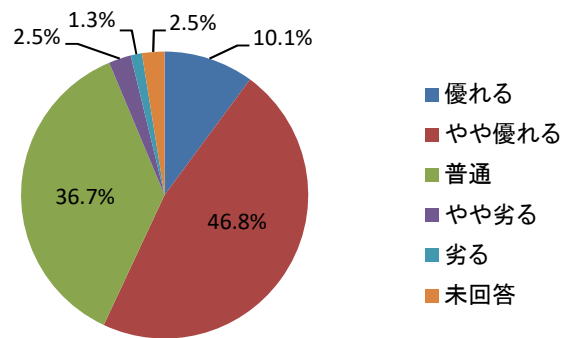
2 明海大学の卒業生の印象について、どのように評価されていますか。

明海大学の卒業生の印象については、調査項目 8 領域のうち 6 領域で「優れる」・「やや優れる」が過半数を占めた。最も高い評価を得たのは「対人関係、仕事の協調性」及び「コミュニケーション能力」で、「優れる」・「やや優れる」を合わせて 61 社（77.2%）から回答があった。

一方、「普通」・「やや劣る」・「劣る」との回答が多かった領域は「外国語（英語など）の能力」（普通 47 社・やや劣る 8 社・劣る 2 社）・「パソコン操作等の能力」（普通 45 社・やや劣る 3 社・劣る 1 社）であった。このことから、人間性の評価に比べ、語学力やパソコン操作等職務上で必要となる技術面がやや不足していると評価されていることがわかった。

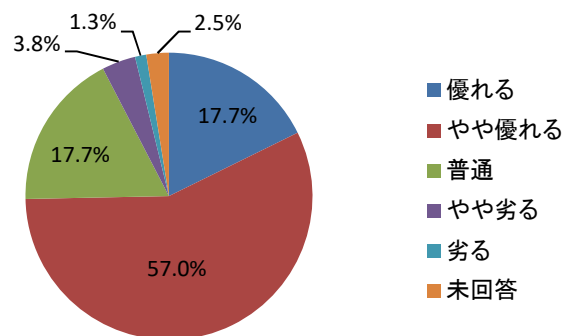
(1) 仕事に対する知識・基礎学力

知識・基礎学力	回答数
優れる	8
やや優れる	37
普通	29
やや劣る	2
劣る	1
未回答	2
合計	79



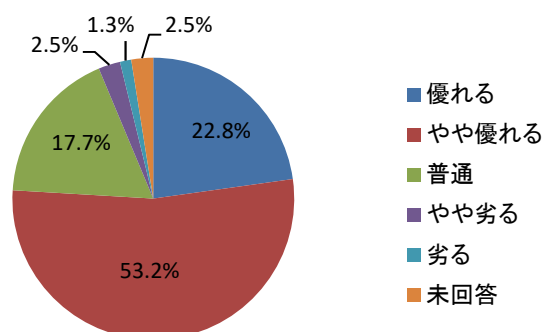
(2) 仕事に対する理解・判断力

理解・判断力	回答数
優れる	14
やや優れる	45
普通	14
やや劣る	3
劣る	1
未回答	2
合計	79



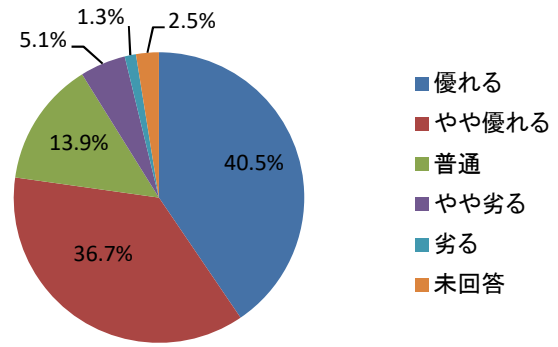
(3) 仕事に対する職務遂行能力

職務遂行能力	回答数
優れる	18
やや優れる	42
普通	14
やや劣る	2
劣る	1
未回答	2
合計	79



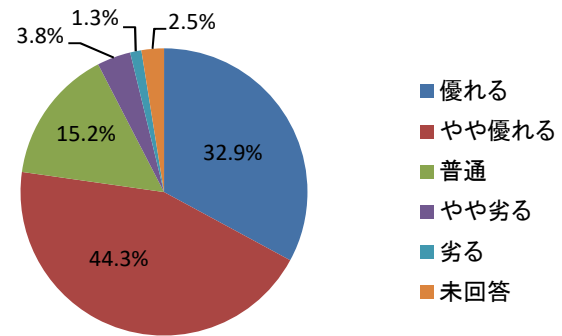
(4) 対人関係、仕事の協調性

対人関係、協調性	回答数
優れる	32
やや優れる	29
普通	11
やや劣る	4
劣る	1
未回答	2
合計	79



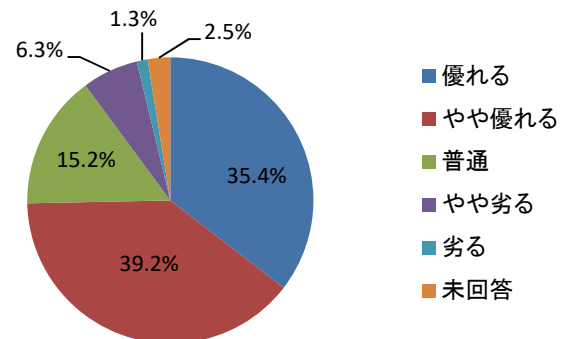
(5) コミュニケーション能力

コミュニケーション能力	回答数
優れる	26
やや優れる	35
普通	12
やや劣る	3
劣る	1
未回答	2
合計	79



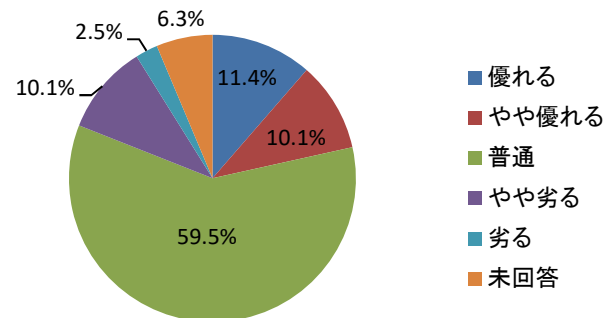
(6) 責任感・粘り強さ・誠実性

責任感・粘り強さ・誠実性	回答数
優れる	28
やや優れる	31
普通	12
やや劣る	5
劣る	1
未回答	2
合計	79



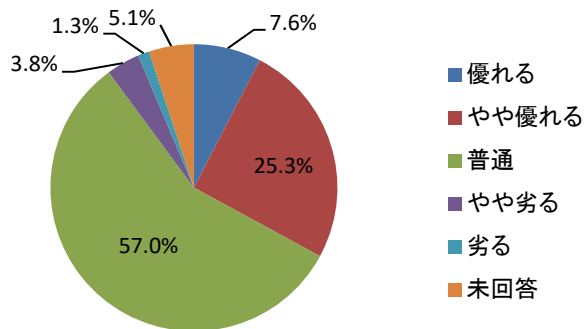
(7) 外国語（英語など）の能力

外国語の能力	回答数
優れる	9
やや優れる	8
普通	47
やや劣る	8
劣る	2
未回答	5
合計	79



(8) パソコン操作等の能力

パソコン操作等の能力	回答数
優れる	6
やや優れる	20
普通	45
やや劣る	3
劣る	1
未回答	4
合計	79



(9) その他 (自由記入)

明海大学の卒業生の印象について、次の回答等があった。

- ・とても一生懸命頑張ってくれています。(2件)
- ・日々業務も社内イベントもプロアクティブに取り組んでくださり、社内での信頼も素晴らしいご活躍、ありがとうございます。
- ・とても朗らかで周囲の人や顧客からも好印象。一つの目的を与えるとそれを遂行しようと努力する姿勢が見受けられる。
- ・真面目さと明るさを備えた方が多い印象です。
- ・非常に能力が高く、人柄も最高の評価です。



## 明海大学生に関するアンケート調査

以下の質問について、ご記入又は適当と思われる項目の番号を○で囲んでください。

### I. 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

1. 従業員数： 約               人（貴社全体の人数）
2. 資本金：                   万円
3. 業種： 1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. その他（                                      ）
4. 現在の明海大学卒業生の在職者数（大学院修了生を含む）：           人

### II. 調査項目 明海大学生についてお伺いいたします。

1. 採用に当たってどのような点を重視しますか。  
（次の3項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5非常に重視、4やや重視、3普通、2余り重視しない、1重視しない）  

(1) 学力（専門・基礎）	5 · 4 · 3 · 2 · 1
(2) 職務能力の適性	5 · 4 · 3 · 2 · 1
(3) 人間性（積極性・協調性など）	5 · 4 · 3 · 2 · 1
(4) その他（自由記入）	_____
2. 明海大学の教育内容に求めることは何ですか。番号を○で囲んでください。（複数回答可）
  - (1) 専門領域の知識：大学での学修成果の向上が必要。
  - (2) 日本語コミュニケーション・スキル
  - (3) 外国語コミュニケーション・スキル
  - (4) 数量的スキル：自然や社会的事象を論理的に分析理解する。
  - (5) 情報リテラシー：多様な情報を適正に判断し効果的に活用する。
  - (6) 論理的思考力：情報や知識を複眼的、論理的に分析する。
  - (7) 問題解決力：問題を発見し確実に解決できる。
  - (8) 自己管理能力：自らを律して行動できる。
  - (9) チームワーク、リーダーシップ
  - (10) 倫理観：自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
  - (11) その他（                                      ）

貴社名 \_\_\_\_\_

回答者の部署・役職 \_\_\_\_\_

## ■浦安市内企業アンケート傾向分析【2019～2021 年度】

### 目的

浦安市内の企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：浦安市内に本社がある企業

(求人実績企業・OBOG 在籍企業・企業訪問記録登録企業)

調査方法：調査対象企業に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2021 年度	2020 年度	2019 年度
発送数 a	74	68	106
住所不明 b	15	0	5
回収数 c	10	12	33
回収率 $c/(a-b)$	16.9%	17.6%	32.7%

### 結果の概要

- ・回答企業のほとんどが従業員数 500 人未満の中小企業で、2021 年度は「製造業」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に多くの企業が「人間性」、「職務能力の適性」を重視しているが、2021 年度は「学力」をやや重視するとの回答が増加した。
- ・本学の教育内容に求めることについては、「問題解決力」との回答が多かった。また、過年度と比べ、「情報リテラシー」との回答が増加した。

### 分析・対策等

- ・採用に当たって学力を重視する企業もあり、採用選考時に SPI 等筆記試験を課す企業も多いことから、低学年からの基礎学力の強化が必要である。
- ・情報リテラシーの必要性が高まっていることから、学修の基礎Ⅲをはじめとした教育の強化が必要である。
- ・教育内容に求めることについてのアンケート結果から、多様化する社会で活躍する人材を輩出するためには、「問題解決力」、「論理的思考力」、「自己管理能力」といった現場における実践力や即応性を、在学中に身につけさせることが重要である。

### 詳細

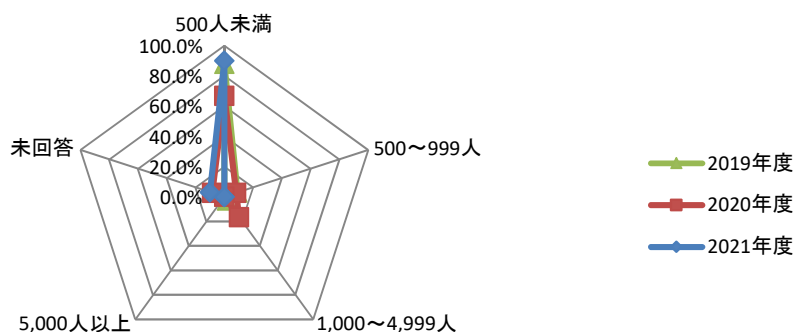
※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

# 1 企業情報

## (1) 従業員数

2021年度は、過年度と同様に従業員数「500人未満」の企業が最も多かった。(図1-1)

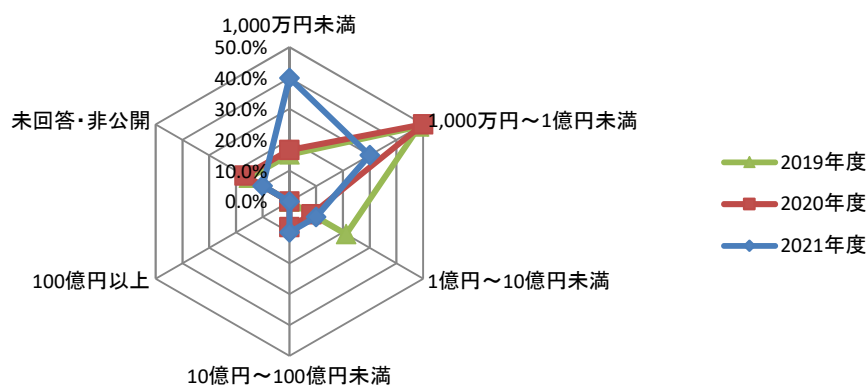
図1-1 従業員数



## (2) 資本金

2021年度は、資本金「1,000万円未満」が最も多く、過年度と比べると小規模企業からの回答が多かった。(図1-2)

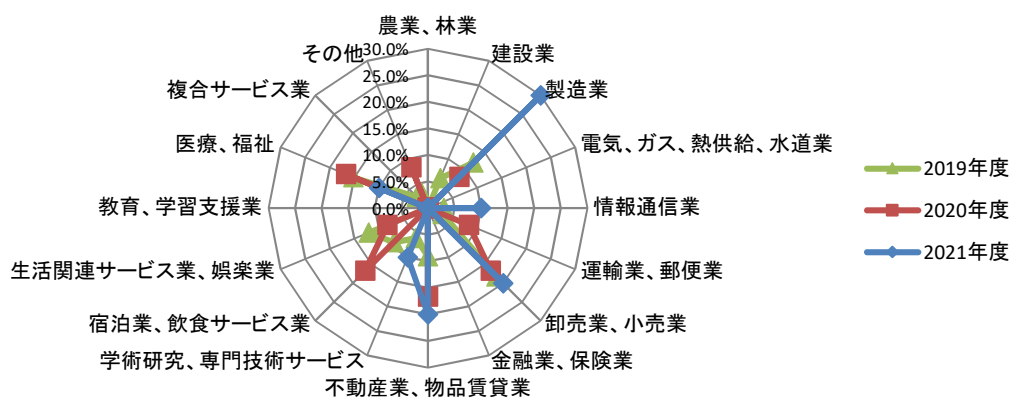
図1-2 資本金



## (3) 業種

2021年度は、「製造業」からの回答が増えた。また、2020年度と同様に「卸売業、小売業」、「不動産業、物品賃貸業」からの回答が多かった。(図1-3)

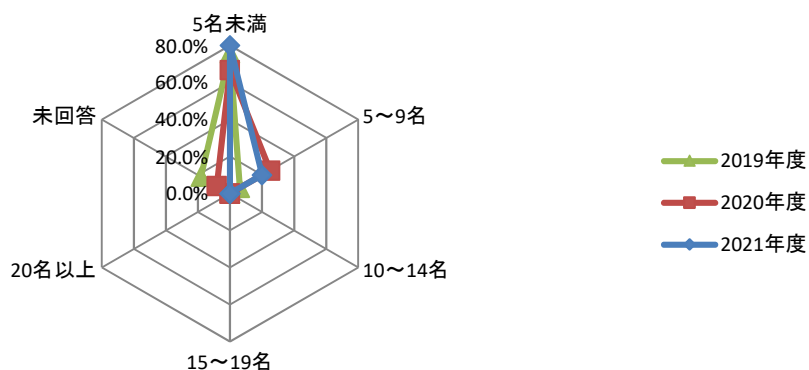
図1-3 業種



(4) 卒業生在籍者数

2021年度は、過年度と同様に「5名未満」の企業が最も多く、8割を占めた。(図1-4)

図1-4 卒業生在籍者数

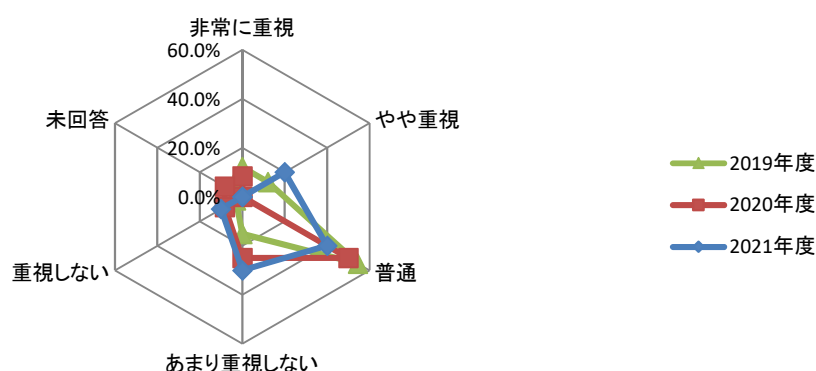


2 採用に当たって重視する点

(1) 学力 (専門・基礎)

2021年度回答企業の8割以上が、「普通・あまり重視しない・重視しない」傾向にあるが、過年度と比べ「やや重視」が増加した。(図2-1)

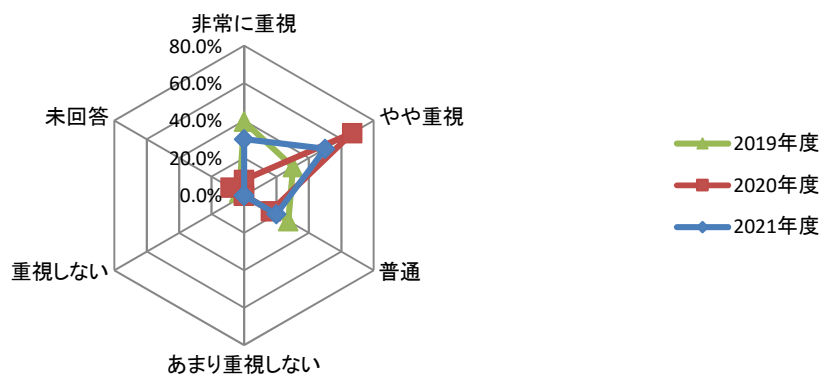
図2-1 学力



(2) 職務能力の適性

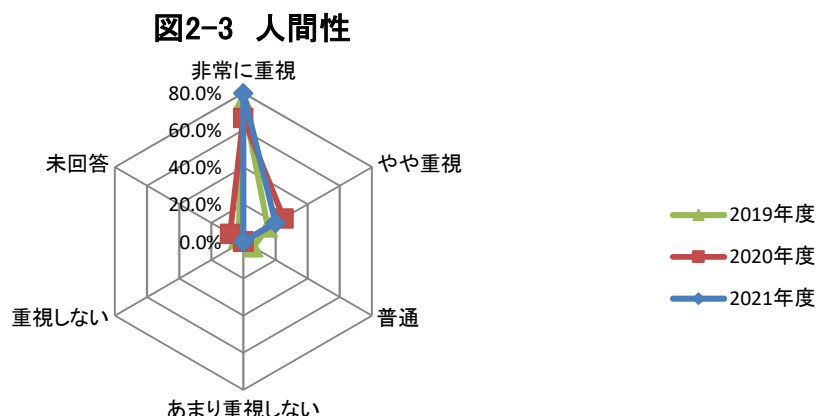
2021年度は、2020年度と比べ「非常に重視」の割合が増加した。(図2-2)

図2-2 職務能力の適性



(3) 人間性（積極性・協調性など）

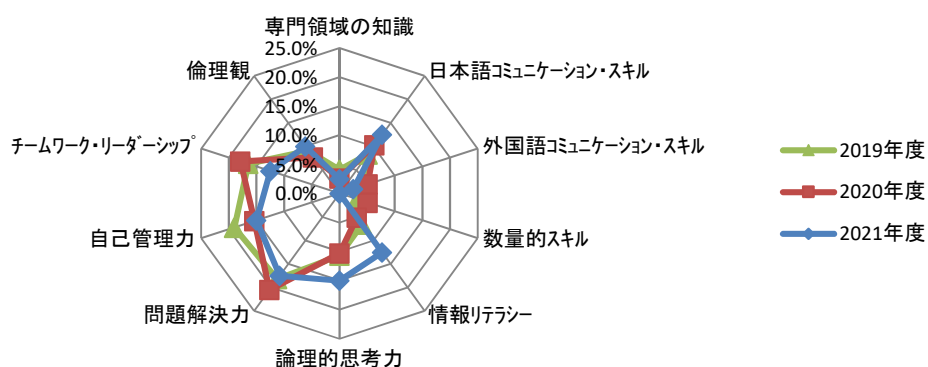
2021年度は、すべての企業が人間性を「非常に重視・やや重視」しており、過年度と同様に採用に当たって最も重視する傾向にある。（図2-3）



3 明海大学の教育内容に求めること

2021年度は、2020年度と同様に「問題解決力」が最も多かった。また、過年度と比べ「情報リテラシー」との回答が増加した。（図3）

**図3 教育内容に求めること**



4 添付資料

明海大学生に関するアンケート調査集計結果（2021年度）

明海大学生に関するアンケート調査集計結果（2021年度）

1 発送対象等

浦安市内に本社がある企業 74 社（求人実績企業・OBOG 在籍企業・企業訪問記録登録企業）

2 発送数・回収状況等

発送数 a	74
住所不明 b	15
回収数 c	10
回収率 $c/(a-b)$	16.9%

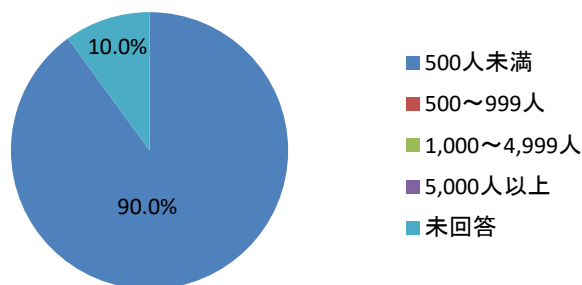
I 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1 従業員数

従業員規模別では、「500 人未満」が最も多く 9 社（90.0%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、3 人（学術研究、専門・技術サービス業）で、最も多かったのは 183 人（製造業）であった。

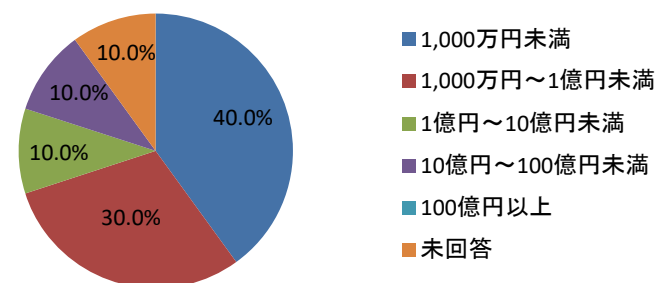
従業員数	回答数
500 人未満	9
500～999 人	0
1,000～4,999 人	0
5,000 人以上	0
未回答	1
合計	10



2 資本金

資本金規模別では、「1,000 万円未満」が最も多く 4 社（40.0%）、次いで「1,000 万円～1 億円未満」の 3 社（30.0%）であった。回答のうち、資本金の最大額は 53 億 5,500 万円（製造業）であった。

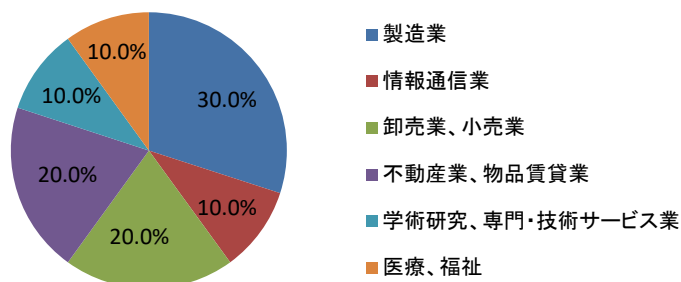
資本金	回答数
1,000 万円未満	4
1,000 万円～1 億円未満	3
1 億円～10 億円未満	1
10 億円～100 億円未満	1
100 億円以上	0
未回答	1
合計	10



### 3 業種

業種については、6業種に分布が見られた。最も多かった業種は、「製造業」の3社（30.0%）であった。

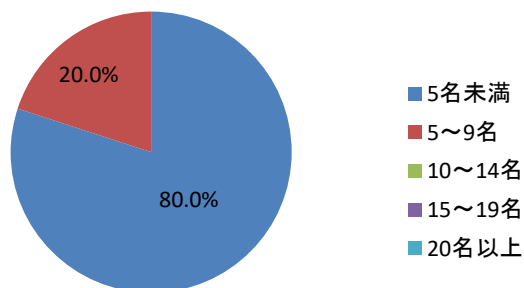
業種	回答数
製造業	3
情報通信業	1
卸売業、小売業	2
不動産業、物品賃貸業	2
学術研究、専門・技術サービス業	1
医療、福祉	1
合計	10



### 4 現在の明海大学卒業生の在籍者数

最も多かったのは「5名未満」の8社（80.0%）、次いで「5～9名」の2社（20.0%）であった。回答のうち、卒業生在籍者数が最も多かった企業は、5名（2社同数：卸売業、小売業／不動産業、物品賃貸業）であった。

卒業生在籍者数	回答数
5名未満	8
5～9名	2
10～14名	0
15～19名	0
20名以上	0
合計	10



## II 調査項目

### 1 採用に当たってどのような点を重視しますか。

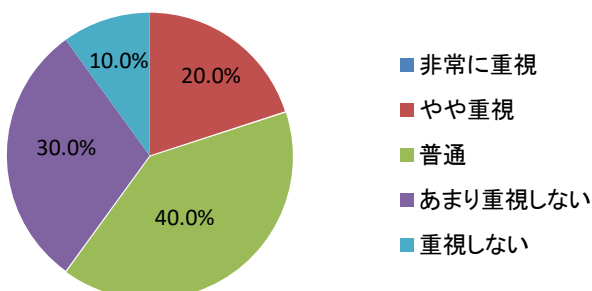
「学力（専門・基礎）」・「職務能力の適性」・「人間性（積極性・協調性など）」の3項目について、企業が最も重視しているのは、「人間性（積極性・協調性など）」で、すべての企業から「非常に重視」・「やや重視」との回答があった。次に挙げられたのは、「職務能力の適性」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて8社（80.0%）が重視していることがわかった。

一方で、「学力（専門・基礎）」については、「普通」が最も多く、「あまり重視しない」・「重視しない」と合わせて8社（80.0%）であった。

「学力（専門・基礎）」はもちろんのこと、学生にいか「人間性（積極性・協調性など）」や「職務能力の適性」を身に付けさせるかが、就職に強い大学になるための鍵となりそうである。

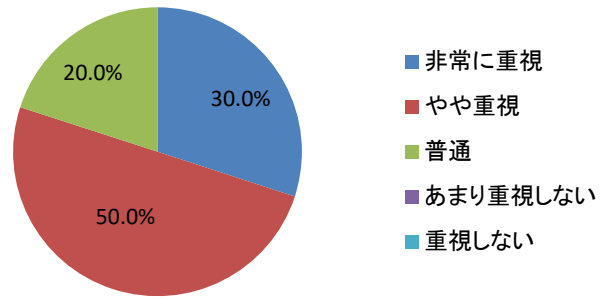
#### (1) 学力（専門・基礎）

学力	回答数
非常に重視	0
やや重視	2
普通	4
あまり重視しない	3
重視しない	1
合計	10



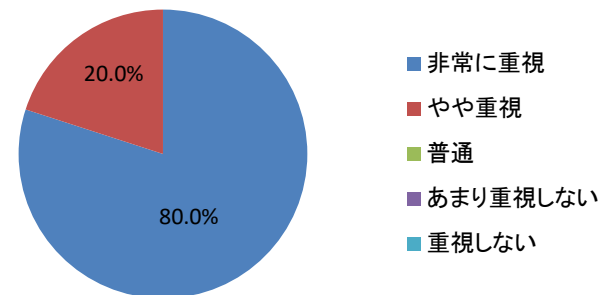
(2) 職務能力の適性

職務能力の適性	回答数
非常に重視	3
やや重視	5
普通	2
あまり重視しない	0
重視しない	0
合計	10



(3) 人間性（積極性・協調性など）

人間性	回答数
非常に重視	8
やや重視	2
普通	0
あまり重視しない	0
重視しない	0
合計	10



(4) その他（自由記入）

採用に当たって重視する点として、次の回答があった。

- ・コミュニケーション能力
- ・プログラミング経験（情報通信業）

2 明海大学の教育内容に求めることは何ですか。（複数回答可）

本学の教育内容に求めることで「問題解決力」を挙げた企業が7件（回答企業の70.0%）と最も多く、次いで「論理的思考力」・「自己管理能力」の6件（回答企業の60.0%）であった。一方で最も少なかったのは「数量的スキル」の0件であった。

なお、その他の回答として「誠実さ」・「ITスキル」・「情報処理能力」があった。

回答	回答数
専門領域の知識	1
日本語コミュニケーション・スキル	5
外国語コミュニケーション・スキル	1
数量的スキル	0
情報リテラシー	5
論理的思考力	6
問題解決力	7
自己管理能力	6
チームワーク・リーダーシップ	5
倫理観	4

